

都市・ひと・自然を考える

10月4日は「都市ビル環境の日」

2019年 第25回

都市ビル環境の日

「大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割」
～オリンピックイヤーを迎えるにあたって～



公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会



公益社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会
会長

金子 誠

ビルメンテナンスと五輪大会の絆

令和元年の都市ビル環境の日行事(シンポジウム)は、来年夏季開催の国家的イベント「東京オリンピック・パラリンピック 2020」を迎えるにあたってビルメンテナンス業界の担うべき役割をテーマに定め展開します。ビルメンテナンス業界は 2020 五輪開催に向けて業務協力を行います。競技大会が「安全」「快適」に運営されるように専門的技能をもって想定される諸課題解決に取り組み、海外から日本に向けられる環境衛生管理の高い評価を目指すものです。全国協会母体で業務支援する強みは、①市場を混乱させずに労働力を確保できること ②清掃サービス水準の高度均質化を主導できること ③清掃業務マニュアルの標準化整備と研修体制を通して最適品質を提供できること等です。

オリンピックとビルメンテナンス業界の歩みを先達の功績と共に振り返ってみましょう。1964年、初めての東京オリンピック大規模運営において、斯業界はその使命を見事に成し遂げ、業界の社会的認知を大きく広げたことです。その後、1970大阪万博(※同年に建築物衛生法施行)さらに1972札幌、1998長野の冬季五輪大会においても地元業界(協会)が大きな貢献を果たすこととなります。そしていよいよ2020東京オリンピック・パラリンピックの大規模運営においても、わたしたち業界に寄せられる社会的な期待は大きなものとなっています。“人手不足”という厳しい現実と正面から向き合い、わたしたちは業界の使命と期待に対し業界(協会)一丸となって取り組みたいと思います。そしてさらに2025年には二回目の大阪万博が控えています。各々一回目で勝ち得たビルメンテナンス業の地位確立を、二回目開催においてさらに事業改革・事業拡大推進の契機とできるよう構想しているところです。……55年前、東京オリンピック大会の閉幕が迫ったころ、各国選手団長の連名である一枚の感謝状が贈られました。それには選手村の快適な環境保全に奮闘した“名も無き清掃従事者”への深甚なる感謝の言葉が綴られていました……本年も10月4日「都市ビル環境の日」に集いましょう!

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

コミュニティの快適な環境創造をめざして

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の間としての事務所ビル、生活の間としての高層住宅ビル、余暇の間としての興業場ビル、健康回復の間としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではいられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。



福岡県知事
小川 洋

今後とも建築物やその設備の 適正な管理について 貴協会のご協力をよろしくお祈いします

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、昭和54年の設立以来、建築物における衛生的環境や安全性の確保を目指し、作業従事者の資質向上のための教育・研修事業や広報啓発活動などを通じたビルメンテナンス事業者の指導育成にご尽力いただいております。

毎年10月4日の「都市ビル環境の日」に開催される本記念行事では、シンポジウムや子ども絵画コンクールの開催、清掃美化活動「クリーンアップ福岡」の実施など、県民の建築物環境衛生の意識向上のために幅広く取り組んでいただき、深く感謝いたします。

さて、先月からアジア初のラグビーワールドカップが開催され、本県でも東平尾公園博多の森球技場で試合が行われております。そして、来年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。都市部において、オリンピックイヤーに向けたホテルの開業ラッシュや再開が進み、ビルメンテナンス業の需要拡大が見込まれる中、大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割に焦点を当てたシンポジウムが開催されますことは、ビルメンテナンス業が今後も発展していくために大変有意義であると考えています。

県としても、これらの大規模イベントを契機として、国内外から多くの観光客を誘致し、県内各地、そして九州への周遊を図るため、空港、港湾の整備など玄関口の利便性の向上と安心して観光してもらうための受入環境の整備を進めていきますので、今後とも建築物やその設備の適正な管理について、貴協会のご協力をよろしくお祈いいたします。

本年行われるさまざまな行事を通じて、建築物環境衛生に対する県民の皆さまの意識がますます高まることを期待するとともに、記念行事のご成功と貴協会の今後ますますのご発展、会員の皆さまのご健勝とご活躍を心から祈念いたします。



福岡市長
高島 宗一郎

環境衛生に対する市民の意識が 深まり、貴協会の活動が 広く認識されることを願っています

「都市ビル環境の日」行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物の衛生的で快適な環境を確保するため、日頃から専門情報の発信や各種講習会の開催などにより、業界全体のレベルアップにご尽力いただいていることに深く敬意を表しますとともに、街の清掃活動などを通じて、建築物の環境衛生にとどまらない快適で住みよいまちづくりにご貢献いただいていることに厚くお礼申し上げます。

また、毎年行われているシンポジウムやクリーンアップ福岡などを通じて、環境衛生に対する市民の意識がますます深まるとともに、貴協会の活動が広く認識されることを願っております。

福岡市では、「生活の質の向上と都市の成長の好循環の創出」を都市経営の基本戦略に掲げ、これを実現し、より確かなものとするため、市民・企業や団体の皆様とともに様々な取り組みを進めております。その結果、現在人口は159万人を超え、福岡市を訪れる観光客数は6年連続で過去最高を更新し続けており、元気なまち、住みやすいまちとして国内外から高く評価されております。

また現在、国家戦略特区の規制緩和などを活用して民間ビルの建替えを誘導する「天神ビッグバン」や「博多コネクティッド」などのプロジェクトを推進し、都市機能を強化しています。社会インフラを適切に維持、更新するとともに、快適かつ安全な環境を確保することは、そこで活動する人々の健康やコミュニティを守るために不可欠であり、ビルメンテナンス業の果たすべき役割もますます重要になっております。

ビルメンテナンスに関して高い技術と豊富な経験をお持ちの皆様には、これまで以上に福岡市の施策へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りいたします。



北九州市長
北橋 健治

大規模イベントには、皆様の専門知識と優れたメンテナンス技術が不可欠です

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物の衛生的で快適な環境と安全性を確保するため、日頃から会員向けの教育や訓練、環境問題に関する啓発事業の実施などに努められるとともに、地域の環境衛生の改善にご尽力いただいております。深く感謝申し上げます。

今年度の「都市ビル環境の日」では、『大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割～オリンピックイヤーを迎えるにあたって～』をテーマとしたシンポジウムが開催されると伺っています。日本を訪れる外国人は年々増加しており、平成30年の訪日外国人旅行者数は、約3,119万人と過去最高を記録しました。また、来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2025年の大阪万博などの大規模イベントを控え、訪日外国人旅行者数は、ますます増加することが予想されます。このような大規模イベントに訪れた方々が、滞在中、安全・快適に過ごしていただくためには、建築物に対する皆様の優れたメンテナンスの技術や専門知識が欠かせません。このシンポジウムの開催が、皆様の更なる知識の向上と意識の高まりにつながることを大いに期待しています。

さて、本市は、OECDより、「SDGsの推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定され、また、日本政府より、「SDGs未来都市」に選定されました。

SDGsのゴールの中には、「住み続けられるまちづくりを」という目標も掲げられており、皆様の環境衛生の向上に寄与する日頃の活動や、「都市ビル環境の日」の啓発活動は、SDGsの取組につながっています。SDGsの達成には、企業、大学、市民、地方自治体など官民が一体となって取り組むことが重要です。今後も、SDGs達成を目指す先進都市として、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを進め、「日本一住みよいまち・北九州市」の実現に向け取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたします。



久留米市長
大久保 勉

オリンピックイヤーを迎えるにあたり、貴協会の益々のご発展を期待しております

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、快適な都市環境の保持増進を図るために、日頃より、多種多様なビルの形態に対応し、建築物に関する専門知識と技術の習得・普及にご尽力いただいております。深く感謝申し上げます。

今年度は、「大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割～オリンピックイヤーを迎えるにあたって～」をテーマとしてシンポジウムが開催されますが、大規模イベントが開催される際に、多くの来場者に快適な環境を提供されることにとどまらず、常に新たな役割を検討される試みに深く敬意を表します。

久留米市におきましても、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地として、ケニア共和国、カザフスタン共和国をお迎えする準備を進めております。

2018年に完成した九州最大級のスポーツ施設「久留米アリーナ」は大規模な大会から日常的な利用まで、多くの人々がスポーツを楽しむことができる施設です。ハイレベルなプレー観戦から練習試合の応援まで、臨場感のある空間で、競技者だけでなく、観戦者もスポーツに親しむことができます。

また、久留米市は、全国トップレベルの医師数と大病院など大型の医療機関が集積した高度医療都市であり、そのような面からも選手団をしっかりとサポートすることができます。

このような選手団をお迎えするにあたりましても、快適な施設環境を提供するためには、貴協会の皆様方のご協力が必要不可欠になりますので、今後とも久留米市の事業等へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割 ～オリンピックイヤーを迎えるにあたって～

建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)は、建築物の維持管理に関し、環境衛生上必要な事項等を定めることにより、公衆衛生の向上及び増進に資することを目的として昭和45年に制定されました。

近年、衛生的で快適な生活環境への社会的ニーズの高まりや環境に配慮した建築物への関心の高まりとともに、グローバル化に伴う多様な利用者に対するサービスの多岐化など建築物の環境衛生管理を取り巻く状況は大きく変化しています。

本年は5月1日に天皇陛下が即位され、令和の御代が始まりました。新しい時代の始まりとともに、これから日本ではオリンピックを始めとする国際的な大規模イベントが数多く開催され、世界中から多くの人々が集まります。それに伴い、大規模なイベントのためのインフラの整備や新しい施設の建築が急ピッチで進められています。それらの施設では我々の維持管理業務も存在しており、来場者に対して快適なサービスを提供すると共に、テロや事件などを未然に防ぐ体制づくりを求められています。

そこで今回は、大規模イベントの中で必要不可欠である我々の業務が、今までどのような形で関わってきたのかを振り返り、そして今何が求められているのか。オリンピックイヤーを来年に迎えるこの時期に、大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割に焦点を当て、ビルメンテナンス業の役割はこれからどうあるべきかをご一緒に考えてまいります。

Program

■日 時 2019(令和元)年10月4日(金) 14:00～16:30
 ■会 場 あじびホール(福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階)

13:30	受付開始	
14:00	開会挨拶	公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 会長 金子 誠
14:05	来賓挨拶	福岡県知事 小川 洋 福岡市長 高島宗一郎 北九州市長 北橋 健治 久留米市長 大久保 勉
14:15	第12回子ども絵画コンクール入選作品発表	
14:25	基調講演	テーマ▶ グローバル化に伴う日本の清掃を考える ～オリンピックイヤーを迎えるにあたって～ <講師> 藤田 忠久 東京海上日動ファシリティーズ(株)FM教育・技術センター部長
15:30	パネルディスカッション	テーマ▶ 大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割 <パネリスト> 藤田 忠久 東京海上日動ファシリティーズ(株)FM教育・技術センター部長 金子 誠 (公社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長 野田 始 (公社)福岡県ビルメンテナンス協会 青年部 部長 <コーディネーター> 吉次 正利 (公社)福岡県ビルメンテナンス協会 「都市ビル環境の日」部会長
16:30	閉会挨拶	公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 副会長 倉重 一男

Lecture & Discussion

基調講演

テーマ

グローバル化に伴う日本の清掃を考える

～オリンピックイヤーを迎えるにあたって～



■ 講師

東京海上日動ファシリティーズ(株)
FM教育・技術センター部長

ふじた ただし
藤田 忠久

【経歴】 1956年生 福島県会津若松出身
1975年 県立会津工業高等学校 建築科 卒
1979年 東北工業大学 工業意匠学科 卒
1979年 (株)最北精密 開発課 入社
1981年 同社 退社
1982年 (株)東北ダイケン 入社
1984年 (株)第一建築サービス東京支店 移
1998年 同社 退社
1998年 東京海上日動ファシリティーズ(株) 入社

【資格】 建築物環境衛生管理技術者
ビルクリーニング技能士
職業訓練指導員

【公務ほか】 東京都立城南職業能力開発センター 講師
公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター 教授
東京ビルメンテナンス協会 建物管理委員会 委員
日本環境感染学会 会員

【受賞(章)】 ICHG (Infection Control Hospital Group)研究会 会員
平成 7年 7月 (財)建築物管理訓練センター 表彰状
平成23年 1月 (財)ビル管理教育センター 表彰状
平成26年 11月 厚生労働大臣 功労賞
平成30年 11月 瑞宝単光章

講師プロフィール

パネルディスカッション

テーマ

大規模イベントにおける ビルメンテナンス業の役割



コーディネーター
吉次 正利

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会
「都市ビル環境の日」 部会長
吉次商事(株) 代表取締役社長

パネリスト



東京海上日動ファシリティーズ(株)
FM教育・技術センター部長

藤田 忠久



(公社)福岡県ビルメンテナンス協会 会長
(株)朝日ビルメンテナンス 代表取締役社長

金子 誠



(公社)福岡県ビルメンテナンス協会 青年部 部長
(株)愛光ビルサービス 代表取締役

野田 始

Concours 第12回 子ども絵画コンクール

テーマ▶「未来のおそうじ～きれいにしよう、わたしたちの環境を～」

作品募集期間▶2019(令和元)年8月1日(木)～9月9日(月)

■ 作品展示期間／展示場所

福岡地区

期 間：2019(令和元)年10月2日(水)～10月6日(日)
場 所：福岡市総合図書館1階(福岡市早良区百道浜3-7-1)

北九州地区

期 間：2019(令和元)年10月9日(水)～10月13日(日)
場 所：北九州市水環境館(北九州市小倉北区船場町1-2)

久留米地区

期 間：2019(令和元)年10月16日(水)～10月20日(日)
場 所：久留米市一番街多目的ギャラリー(久留米市東町26-8)

■日時 2019（令和元）年10月4日（金） 9：30～11：00
 ■会場 福岡県内主要都市中心部及び会員受託物件の周辺
 ■行事 公共施設の清掃及びゴミ収集／約3,000人が参加予定

「クリーンアップ福岡」に参集!

都市ビル環境の日 部会

吉次 正利 吉次商事株式会社

今年、25回目を迎える「都市ビル環境の日」シンポジウムは、テーマを「大規模イベントにおけるビルメンテナンス業の役割」と題し、サブテーマを「オリンピックイヤーを迎えるにあたって」といたしました。オリンピックや万国博覧会など、今後国を挙げて開催される大規模イベントにビルメンテナンス業としてどのように関わるのかを勉強してまいります。

そうしたなか、街を綺麗にする「クリーンアップ福岡」の活動は、世界中から集まる多くの外国人の方に“キレイで美しい日本”をアピールする絶好の機会です。とりわけ、来年はオリンピックイヤー。“キレイで美しい日本”を支えているのは我々ビルメンテナンス業界であることを、「クリーンアップ福岡」を通して、より多くの市民の皆様に応えよう。

*

福岡地区では、昨年好評だった川端商店街の歩道や博多川の河川敷などの清掃活動を行います。一部は移動しながら粗ゴミを拾う部隊を編成し、川端通りや中洲方面へ移動しながらクリーンアップを大々的にアピールしてまいります。

北九州・太宰府・行橋・飯塚・田川・久留米・大牟田・大川・朝倉の各地区も同日に実施いたします。県内の各地区において、同じ時間に一齐に清掃活動を行うことによって本活動が広く一般に認知され、ビルメンテナンス業界のイメージアップにつながるよう努力してまいります。

是非とも会員及び賛助会員の皆様、沢山のご参加をお待ちしております。

※写真はいずれも2018(平成30)年10月4日実施分



福岡



北九州



田川



太宰府



飯塚



久留米



行橋



大川



朝倉

会 場

あじびホール

福岡市博多区下川端町3-1
リバレインセンタービル 福岡アジア美術館8階

TEL. (092) 263-1100



主 催

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階

TEL(092)481-0431 FAX(092)481-0432

後 援

福 岡 県

協 賛

公益財団法人日本建築衛生管理教育センター

一般社団法人福岡県警備業協会

公益社団法人福岡県産業資源循環協会

公益社団法人福岡県建築士会

一般社団法人マンション管理業協会九州支部

一般社団法人全国管洗浄協会

一般社団法人西日本飲料水管理協会

福岡県管工事業協同組合連合会

一般社団法人福岡県ペストコントロール協会

一般社団法人九州ガラス外装クリーニング協会